

地域の物語2024

劇場と地域コミュニティの冒険

～みんなイロイロ
生きてるぜ！

演劇
上演会

3月16日(土)

Aプログラム 11:00～12:30 (聴覚障害の方の日本語字幕タブレット有)

『ともにやの部屋～黒田真史さん』
『ともにやの部屋～中川陽子さん』

Bプログラム 14:30～17:00 (聴覚障害の方の日本語字幕タブレット有)

『支えることについての小さな劇3』+ゲストトーク
『うけいれる身体・うけいられない身体』

Cプログラム 19:00～20:30

『ラップしようぜ！』

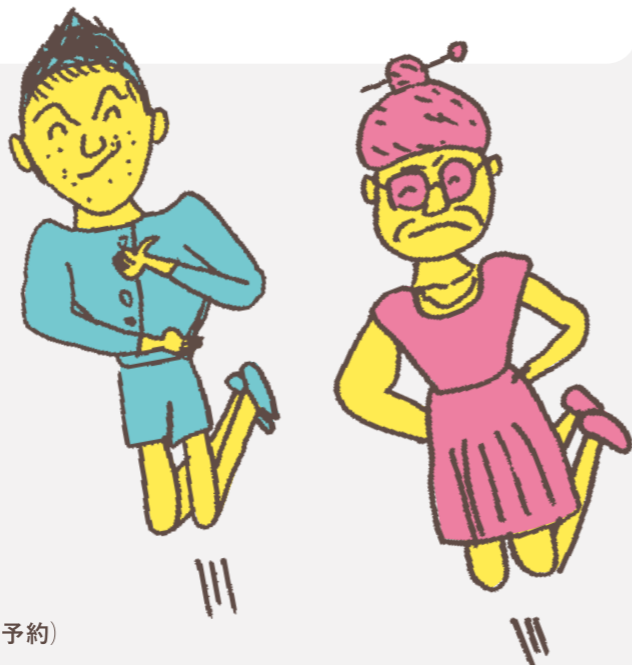
3月17日(日)

Dプログラム 11:00～12:30

『ともにやの部屋～中川陽子さん』
『支えることについての小さな劇3』+出演者トーク

Eプログラム 14:30～17:30

『ともにやの部屋～黒田真史さん』
『うけいれる身体・うけいられない身体』
+アフタートーク



観劇お申込み / お問い合わせ

世田谷パブリックシアターチケットセンター

電話 **03-5432-1515** (10:00～19:00)

受付開始 **2月17日(土) 10:00～**

- *氏名、電話番号、観劇人数(2名まで)、ご希望プログラム(A～E)をお伺いします。
- *2月17日(土)～29日(木)までは、おひとり1プログラム(2名まで)お申込みいただけます。
- *3月1日以降は、残席状況に応じて、一度のお電話で複数プログラムお申込みいただけます。
- *世田谷パブリックシアターチケットセンター窓口、オンラインチケットでの受付はございません。

観賞サポート

車椅子スペース (定員有・要予約)

[申込] 3月8日(金)までに劇場チケットセンター **03-5432-1515** へ。

聴覚障害者の方の日本語字幕タブレット (定員有・要予約)

[申込] 3月8日(金)までに、右記QRコード(公演ページ)の
観賞サポート「お問合せフォーム」よりお申込みください。

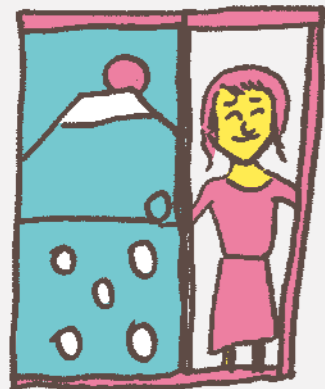


託児サービス (有料・定員有・要予約)

[料金] 2,200円(1名につき)

[対象] 生後6か月以上9歳未満(障害のあるお子様についてはご相談ください)

[申込] ご利用希望日の3日前の正午(12:00)までに劇場受付 **03-5432-1526** へ。



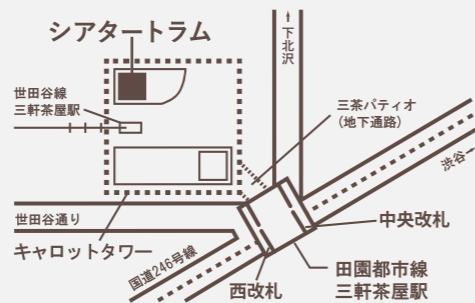
〒154-0004

東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー

三軒茶屋駅 [東急田園都市線・東急世田谷線] より直結

ホームページ <https://setagaya-pt.jp/>

劇場代表電話 **03-5432-1526**



世田谷パブリックシアター
SETAGAYA PUBLIC THEATRE



市井の人たちへの
インタビューから
つくった演劇
レパトリー作品
大公開!

地域の物語2024

劇場と 地域コミュニティの 冒険

～みんなイロイロ
生きてるぜ！

演劇
上演会

2024年3月16日(土)～17日(日)

全席自由 入場無料(要予約) シアタートラム(三軒茶屋すぐ)

観劇お申込み/お問合せ 世田谷パブリックシアターチケットセンター **03-5432-1515**

台本のないところから、集まった人たちが演劇を立ち上げていくプロジェクト『地域の物語』。

世田谷パブリックシアターが開場した1997年から27年間、

自分や周りの人たちの思いや生活、人生、また現在進行形の社会問題等を出発点に、

地域コミュニティ全体で共有しうる『地域の物語』を

紡ぐことを目指して、演劇づくりを行ってきました。

今年度は、一般の方たちが参加者の中心だったこれまでの発表会とは、

やや趣きを変えて実施します。

「劇場と地域コミュニティの冒険」と題し、世田谷パブリックシアターが、

世田谷区内の社会福祉法人や障害当事者の方々などと連携して作りあげてきた作品をまとめて上演します。

『ともにやの部屋』『支えることについての小さな劇』は、

2021年度から下馬地区で開催しているアートのおまつり『極楽フェス』に向け、

地域の方と共に作り続けている作品シリーズです。

『うけいれる身体・うけいれられない身体』は、

長年関係を結んできた障害当事者との対話から生まれました。

加えて一般の方たちによるコロナをふりかえるラップも発表します。

地域コミュニティから生まれ、地域コミュニティで上演されてきた作品たちを、

劇場でご覧いただけるまたとない機会です。是非足をお運びください。



タイムテーブル

3月16日(土)

11:00～12:30 Aプログラム

『ともにやの部屋～黒田真史さん』
『ともにやの部屋～中川陽子さん』

*聴覚障害の方のための日本語字幕タブレット貸出があります。

14:30～17:00 Bプログラム

『支えることについての小さな劇3』+ゲストトーク
『うけいれる身体・うけいれられない身体』

*聴覚障害の方のための日本語字幕タブレット貸出があります。

19:00～20:30 Cプログラム

『ラップしようぜ!』

3月17日(日)

11:00～12:30 Dプログラム

『ともにやの部屋～中川陽子さん』
『支えることについての小さな劇3』+出演者トーク

14:30～17:30 Eプログラム

『ともにやの部屋～黒田真史さん』+ミニトーク
『うけいれる身体・うけいれられない身体』+アフタートーク



終了時刻は
予定です

演目

『ともにやの部屋～黒田真史さん』(40分)

3月16日(土) 11:00～ Aプログラム
3月17日(日) 14:30～ Eプログラム

『ともにやの部屋～中川陽子さん』(40分)

3月16日(土) 11:00～ Aプログラム
3月17日(日) 11:30～ Dプログラム

【司会】大道朋奈

【出演】大道朋奈、高野菜、伊藤恭平、菅野水紀+黒田真史・中川陽子
【協力】ケアセンターふらっと

黒田さんは交通事故で、中川さんは脳溢血によって脳を損傷し、ケアセンターふらっと(病気や事故による後遺症で障害がある方が通う世田谷区下馬地区の施設)に通っています。自分たちの人生をいろんな人に知ってもらいたいというお二人の思いを受け、俳優たちがお二人と共にインタビューから作品にたちあげました。絶望から今の生活を獲得するまでの人生をユーモラスに描いています。演劇のあとのトークにはお二人も登場! 全国の小中学校をツアー中の人気作品です。



『うけいれる身体・うけいれられない身体』(65分)

3月16日(土) 14:30～ Bプログラム
3月17日(日) 14:30～ Eプログラム+長めのアフタートーク

【出演】有吉宣人、石田迪子、柏木陽、佐藤幸子、山本雅幸
【進行・構成】柏木陽(演出家/NPO法人演劇百貨店)

世田谷区に住む60歳を超えた4名の重度脳性麻痺の方へのインタビューから創作し、「地域の物語 2022」で上演した作品。「できない身体は劣っているわけではない、あるがままの身体を受け入れよう」と社会に訴え、周りの人の力を借りながら「自立生活」(施設を出て暮らすこと)を獲得してきた障害当事者が、老いによって、今まで以上に身体が動かなくなり、自分たちの身体をうけいれ難く思った時——。葛藤や恐れを持ちながらも、自分の気持ちに向き合う障害当事者の声に、俳優たちは何を思うのか。障害のあるなしに関わらずつながれるのか、つなげられないのか。観ている人々にも問いが投げかけられます。



『支えることについての小さな劇3～長見さんの話』(30分)

3月16日(土) 14:30～ Bプログラム+ゲストトーク
3月17日(日) 11:00～ Dプログラム+出演者トーク

【出演】戈文来、松田文、山本雅幸 【構成】山本雅幸 【協力】長見亮太

世田谷区下馬地区にお住まいの方たちの生活を支える仕事をされている/いた方に、「支えること、支えること」をテーマにインタビューから創作するシリーズ。3作目となる本作は、知的障害の方の支援をされてきた長見亮太さんのお話です。仕事を始めた経緯、支援しながら考えてきたこと、家族のこと。人が人を支えるとはどういうことかを問ひかけます。



『ラップしようぜ!
～コロナの日々をふりかえる』

3月16日(土) 19:00～ Cプログラム

【出演】ワークショップ参加者 【進行】柏木陽、FUNI

一般公募で10代から70代のみなさんが集合。ワークショップを経て、参加者それぞれにとって「コロナの日々」はどういったものだったか、ラップを通じて発表します。どんな形になるかはまだまだ未定。後半は、観客の皆さんにとっての「コロナの日々」も伺えたらと考えています。

